

令和6年度 第4回大津市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：令和7年2月6日（木）13時30分～

場所：大津市役所 新館7階 特別会議室

1 開会（事務局）

2 あいさつ（座長）

3 議題

（1）大津市移動等円滑化促進方針（案）と大津市バリアフリー基本構想（案）に対するパブリックコメントの結果等について

（2）大津市移動等円滑化促進方針（案）と大津市バリアフリー基本構想（案）に対するパブリックコメントの意見と市の考え方について

（資料に基づき、事務局から説明）

座長：議題（1）と、（2）について、意見や質問等ありますか。

（質疑）

委員：資料1の市の考え方において、西日本旅客鉄道に対し、促進しますと記載しているが、本来は要望することではないか。

座長：市は、エレベーターの整備を促進するために西日本旅客鉄道に対して整備要望するものと認識している。

事務局：市からエレベーターの要望は出しており、計画の中での表現としては促進するものであると考えるが、回答としての表現を再考する。

座長：パブリックコメントの回答を見た市民が、実施主体が大津市か西日本旅客鉄道か誤解しないよう、表現を検討いただきたい。

委員：市としては、利用促進も必要だが、まず公共交通の存在を知ってもらう必要があ

る。モビリティマネジメント（MM）などを通じて多くの人に周知し利用促進を図る必要があると思うがどうか。また、UDタクシーのUDとはどのような意味か。

事務局：滋賀県では小学校向けに交通環境学習事業を実施しており、本市も同行し協力している。その中でバスの乗り方等の教育を実施しており、引き続き継続していく。UDとはユニバーサルデザインの略語であり、車いすで利用できるタクシーのことである。国でもUDタクシーの導入促進を進めており、市としても促進したい。こうしたわかりにくい語句については用語解説に追記していく。

座長：バリアフリー対応の車両に関する取組は地域公共交通に関する市の計画で位置づけしているのか。

事務局：地域公共交通計画で位置づけている。

座長：資料2の内容で公開するか。その場合、個人が特定されそうな記載は留意してほしい。

事務局：記載方法について整理し報告する。

【議題（3）大津市移動等円滑化促進方針（案）と大津市バリアフリー基本構想（案）について】

（資料に基づき、事務局から説明）

座長：議題（3）について、意見や質問等ありますか。

（質疑）

委員：資料3-1について、修正前よりも修正後のほうが鉄軌道駅のバリアフリー化の状況が悪くなっている印象を受ける。再度詳しく説明してほしい。

事務局：修正前は、道路上から改札までの間と改札からホームまでの間でバリアフリー化されているかそれぞれ評価していたが、利用者としては、道路からホームまで円滑に移動できることが重要であると考え、修正後は道路からホームまでの間でバリアフリー化されているか評価し、表の修正を行った。エレベーターの項目については、エレベーターの有無で「○」・「×」を表記し、エレベーターが必要な高

低差でない駅は「－」と表記した。

座長 : 資料 3-2 を概要版として公表するのか。

事務局 : パブリックコメントでも同様のものを公表しており、計画の概要版としても公表を考えている。

【議題 (4) 今後のスケジュール (案) について】

(資料に基づき、事務局から説明)

座長 : 議題 (4) について、意見や質問等ありますか。

委員 : 協議会を令和 5 年度は 3 回、令和 6 年度は 4 回開催しているが、令和 7 年度は 2 回の予定となっているのはなぜか。

事務局 : 令和 5 年度、令和 6 年度においては計画の策定のために開催回数が多くなっている。令和 7 年度は、協議会を 2 回予定しているが、別にまち歩きは継続して実施したいと考えている。また、必要に応じて開催を増やす可能性もあると考えている。事務局として、バリアフリー推進に向け継続した協議をしていきたいと考えている。

座長 : おおよそ 5 年毎にこの計画を見直す予定としているため、令和 7~9 年度は年に 2 回程度、令和 10 年、11 年度は 3 回や 4 回開催するといった感じになるのではないか。

事務局 : そのとおりである。回数に関わらず必要に応じ協議会を開催していく。

4 その他

委員 : 駅のエレベーター設置について、引き続き市から施設設置管理者に要望等していただき、早期に実現することを願っている。バリアフリーのチェックのため、まち歩きをこの推進協議会で実施したが、自立支援協議会の差別解消部会でも、毎年秋ぐらいに 2 箇所バリアフリーチェックを実施している。令和 6 年度は推進協議会と差別解消部会で皇子が丘体育館のチェックを実施している。相互に情報を共有して一本化することやより多くの箇所を点検できるよう調整してほしい。

事務局：自立支援協議会の事務局である障害福祉課とは情報共有しているが、今年度はそれぞれ別の観点から、同じ施設をバリアフリーチェックすることとなってしまった。次年度以降は一本化や効率化した方法を検討し、相互に連携して実施していきたい。

座長：ほかにないようなので、本日の議事はこれで終了とする。

5 閉会

以上